



## 「学びを調整する力」と「ふり返し」

常滑市立三和小学校長 岩月 浩子

A I 技術の進化やグローバル化により、現代は今までにない速度で変化しています。そのため、知識や情報を知っているだけでなく、それを活用して「みんなで力を合わせて未知の問題を解決していく力」が不可欠です。三和っ子 4 号でご紹介したペアやグループ活動は、このような力を育むための取り組みの一つです。

そして、子どもたち自身の「学びを調整する力」も大切にしています。これは、知識を覚えるだけでなく、自分の学びを客観的に捉え、より効果的に進められるように改善していく力のことです。例えば、何かを勉強しているときに、子どもたちが次のように考え、行動を変えていく力です。「今、自分はどこまで分かっているか？」（現状の把握）、「目標を達成するには、次はどういうやり方で勉強しよう？」（計画・方略）、「前のやり方で本当に良かったかな？もっと良い方法はないか？」（評価・改善）この力を身に付けることで、生涯にわたって新しいことを学び続けることができます。この力を大切に考えるのは、国の教育の大きな流れも踏まえています。次期学習指導要領で目指されている「資質・能力の三つの柱」の一つ、「学びに向かう力、人間性等」を育む上でも、この「学びを調整する力」（自己調整学習の力）は特に注目されている重要な要素です。

そこで、この「学びを調整する力」を育てるため、三和小学校では「ふり返し活動」にも力を入れています。授業の終わりや、一つの単元が終わったときなど、様々な場面で「今日の目標に対して何ができたか」「次はどうするか」と考える時間を大切にしています。また、前時を振り返り、その日の学習課題を見い出す活動も取り入れています。

子どもたちが将来、変化の激しい社会の中でも必要とされる確かな力を身に付けることができるように、今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。



振り返り活動



振り返りの発表



振り返りから課題を考える

### 薬物乱用防止教室 6 年

11 月 21 日（金）常滑市ライオンズクラブの方を講師に招き、薬物乱用防止についての話を聞きました。薬は使い方を守って正しく使うこと、禁止薬物には絶対に手を出してはいけないことについて学びました。薬物乱用の危険が近くまで迫ってきていることについて、最後まで真剣に聞いていました。



### あいさつ運動

12 月 9 日（火）は、PTA・更生保護女性会・児童会・教職員、そしてトコタンによるあいさつ運動を行いました。寒い朝でしたが、三和っ子の元気なあいさつの声が響き渡りました。今年度もトコタンの特別参加があり、ハイタッチをしたり手を振ったりする児童の姿が見られました。

